

# ⑮防災力は地域力!! — 地域の皆が仲間—

青葉台3丁目自治防災会（長岡市）

## 団体概要

設立年度：平成10年度  
人口：803人  
世帯数：206世帯  
(ともに平成23年3月31日現在)



▲ 防災委員のみなさん お揃いのユニフォームで

## 地域の状況

地理的状況：長岡市西陵地（長岡ニュータウン）

地域の概況：長岡ベッドタウンとして開発され、昭和50年から宅地販売

過去の災害：中越地震、中越沖地震

## ○組織結成の経緯

（結成までの経緯）

- 「自分の事(地域)は、自分(達)で守る」をモットーに結成。

（結成の際に苦労、工夫したこと）

- 防災員になり手がなかった。
- 最初の2年間は町内会役員が防災委員を兼務、毎年交代で活動が停滞。
- 訓練計画であまりに完璧を目指し無理な事項が多くなった。
- 最初に黄色のユニフォームとチーム名称を決め町内にPRした。

（行政の関わりなど）

- 防災会結成について長岡市から指導と防災活動機材の提供を受けた。
- 自分達で訓練計画は立て、実務において消防署や消防団からの指導を受けた。

## ○特徴的な取組み内容

- 住民台帳（情報）システムを作成し、PCデータで一元管理
- 専任の防災委員の設置（任期は2年で再任可能、町内役員後の移籍可能）  
中学生サポーターの設置、防災情報掲示板の設置、住民(防災)台帳の作成、救助カードの導入等

（避難計画）

- 避難する際、玄関に避難済み印を掲示、町内一次避難所集合安否確認後地域避難所へ避難
- 住民台帳作成時に災害弱者を住民の自己申告に基づき受付・・・救助カードを作成、活用

（行政の関わりなど）

- 平成17年に青葉台地区にて長岡市地震防災訓練を実施。（住民約1,600人が参加）

## 赤旗表示



▲ 避難訓練での避難済み印掲示の様子

## 中学生サポーター



▲ 中学生サポーターの訓練参加の様子

### ○組織の形態

会長 — 副会長 — 自主防災運営委員会 — 町内会役員 — 町内住民

(専任の防災委員・中学生サポーター)

### ○活動の成果や問題点など

【よかった点など】

- 中越地震の時に普段の訓練が役立った。
- 防災活動に協力的になった。(防災委員に応募多数。)
- 近所間のつながりが良くなった。(町内行事、防災訓練への参加等)
- 全体に防災意識が高まった。(小さな問題や改善についての声上がる。)

【苦労した点など】

- 住民(防災)台帳作成と同時に、個人情報保護との板挟みに苦労。(台帳の必要性を機会を作り説明)
- 専任の防災委員会を組織任期2年とし、ユニフォームを作成。防災活動を楽しむ事とした。

(行政の関わりなど)

- 防災活動を通じて防災担当窓口や消防署との連携が強くなった。
- 毎年、防災員が「中越市民防災安全大学」の受講

### ○活動の課題や今後の取り組みの予定

【課題となっていること】

- 防災意識向上の維持継続
- 地域全体の協力体制と防災レベルの向上
- 市や防災関係者との防災協力関係強化

【課題解決のための取り組み計画】

- 住民参加の意識高揚と場づくり
- 夜間や冬季(積雪時)の対応を検証
- 災害弱者の社会参加の機会づくり

(行政の関わりなど)

- 避難所での地区防災センターとの協力(協働による避難所運営)
- 一般市民活動事業や自主防災活動事業への参加